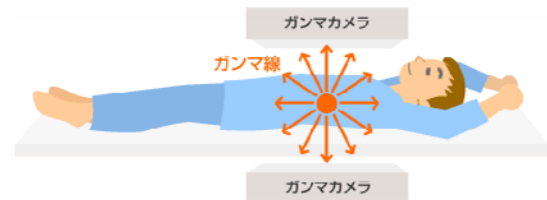


RI検査について

からだの中に入った放射性医薬品から出る放射線をガンマカメラで撮影し、臓器のはたらきを調べる検査です。

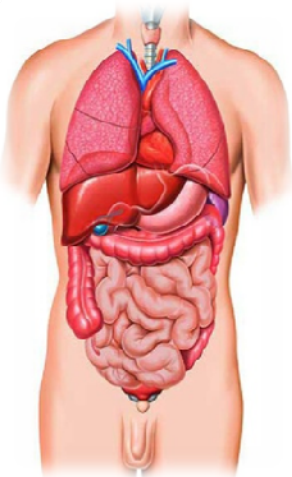


放射性医薬品とは？

ガンマ線という放射線を放出する薬です。からだの中に入った少量の放射性医薬品は、外部から見えない病気の場所や臓器の状態を放射線という信号を出して知らせてくれます。この大事な信号を受け止める役目がガンマカメラという装置です。

安全ですか？

放射性医薬品の放射能は微量で、時間とともに少なくなる性質をもっています。また、一部は体内で代謝されて体外へ排出されるため安全です。検査に用いる放射性医薬品の有効期限は非常に短いため、身体が受ける被ばく線量は少なくてすみます（1～15 mSv）。私たちは日常生活をしているだけで、宇宙、大地、食物などから自然に放射線を浴びており、その量は1年間におよそ2.4mSvです。副作用の発現はごくまれで、あったとしても発疹、嘔気、悪心、皮膚発赤、顔面紅潮、掻痒感などの軽微なものがほとんどです。発生率はここ5年で10万件あたり0.9～2.7件とごくわずかです。



ガリウムシンチ



骨シンチ